

令和3年度 ノーリフティングケア普及促進事業 実践報告

## 職員の意識が変わった ノーリフティングケアの取り組み

～全職員が同じ方向を向くまでの意識改革～



特別養護老人ホーム ひまわり園

1

研修前の状況は

### 管理者の考え

「少しでも職員が  
楽なほうがいい」

- 電動ベッドの導入
- 移乗用リフト導入を予算に  
挙げた

### 現場の考え

「ベッドの上げ下げに  
時間がかかる」  
「リフト教育の時間がない」  
「リフトは手間がかかる」  
「二人介護するからいらない」

同じ目的に向かって取り組めていなかった

2

## 研修参加のきっかけ

衛生委員会が腰痛アンケートを実施し結果を集計したところ、  
大半の職員が実は腰痛を持って業務していたことに驚いた

スタッフの腰痛を改善したい

環境の改善（電動ベッド導入）だけではなく、  
意識改革が行える体制づくりが必要！

ノーリフティングケア研修へ参加を決意！

3

## ノーリフティングケア委員会発足！！

施設長、介護、看護、相談員、理学療法士で多職種チーム結成



### <役割>

施設長：統括マネージャー  
看護主任：健康管理  
理学療法士：技術教育  
介護主任：プランニング  
相談員：福祉用具管理  
介護職員：協力スタッフ  
(リンクスタッフ)

チームの連携を大事にしています

4

## 施設長が統括マネージャーとして 全ての研修に参加！

<管理者>  
率先し研修へ参加



<職員>  
委員会メンバーが  
職員へ発信しやすい

管理者と現場の距離が近くなり、それぞれの考えを  
すり合わせ、共有できた！！



## 健康管理（看護師）

個人面談を導入し、プライベートにも腰痛の原因があることを知った  
働く時だけ腰痛予防をしても意味がない！！

例えば・・・

- ・赤ちゃんを抱っこするとき
- ・低い位置に掃除機をかけるとき



施設内ラウンド（巡視）を行い

**5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）**の視点で  
職員の意識改革を実施！

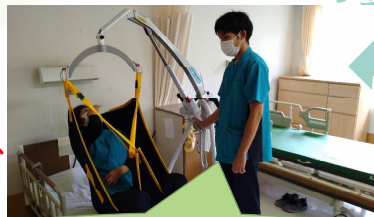


## 技術教育（理学療法士）

研修に参加し技術も大切だが「言葉かけ」「利用者への触れ方」が  
大切だということを職員へ伝えた

利用者に対する職員の対応が  
「ケアするだけ」→「優しいケア」へ

教育の必要性が  
理解できた！



「介助が楽やん！！」  
「慣れれば、そんなに時間がかからんね」

本当に理解しているのか、「伝える」で止まらずに理解度チェック！  
その後は現場で行動に移せているかをOJTで確認・指導の継続中！



## プランニング（介護福祉士）

プランニングは

**ノーリフティングケア ≠ 福祉用具の使用**

- ・自立支援（利用者の力を引き出す）
- ・職員、利用者ともに安心安全なもの

より深くアセスメントを多職種で行えるようになった。  
また、ケアプランの福祉用具選定が明確化して、よりよい個別ケア  
を考えられるようになった。



一人一人のケアの方法を統一することにもつながり、ケアの方法の  
ムラをなくしていくことにもつながった。



## 福祉用具管理（生活相談員）

以前は... 福祉用具に関する知識不足があった  
福祉用具選定は**管理者**が行っていた（トップダウン）

研修を受けて...  
知識が増えたことで、**現場から**福祉用具選定に関する  
意見、置き場所、メンテナンスについて検討し、  
管理体制を構築した



リフト一つにおいても多くのデモ機を借り、対象者  
・環境・使い勝手などの視点で委員会メンバーが選択

導入・管理体制を作ることで、**腰痛・事故等の軽減**につながると考える  
単に福祉用具を導入するだけでは不十分ということが分かった

## 気づきの木の種

リスクだけでなく  
「**ポジティブメッセージ**」  
も種として拾っていく

気づきの木の種を活用し、  
様々な取り組みに  
ノーリフティングケア  
（マネジメント研修）の  
考え方を活用していく



施設長  
（統括マネージャー）

委員会

気づきの木を通じた  
現場からのリスク

健康管理を通じた  
職員の腰痛リスク

用具導入管理を通じ  
た環境のリスク

プランニング・教育を  
通じたケアにおける  
リスク

職員・利用者を守るリスクマネジメントを行える体制

体制をつくることで、全職員がノーリフティングケアとは  
何かを理解し、同じ方向を向けた

職員に負担のないケアこそ  
ご利用者にとって負担のないケア!!  
職員の安全なくして、ご利用者の安全なし!

before

after

## 最後に

管理者

積極的なノーリフティングケアへの  
研修参加  
委員会の発足と体制づくり

現場

腰痛予防  
安心・安全なケア

同じ目的に向かって取り組み始めた

ひまわりが太陽を向いて咲くように、  
我々ひまわり園の全職員も  
「腰痛予防の体制整備」「安心安全なケアの提供」  
という目的に向かって、  
これからもノーリフティングケアを取り組みます

